

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	大学スポーツ振興の推進事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者			
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定) 年度	令和3年度	担当課室	地域スポーツ課		地域スポーツ課長 橋田 裕			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法第28条			関係する 計画、通知等	第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日) 未来投資戦略2017(平成29年6月9日閣議決定)					
主要政策・施策	-			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の大学スポーツの持つ潜在力(人材輩出、経済活性化、地域貢献等)を生かすため、大学スポーツに係る体制の充実を図る必要がある。そのため、適切な組織運営管理や健全な大学スポーツビジネスの確立等をめざす大学横断的かつ競技横断的統括組織の創設に向けて、具体的準備を行うための設立準備委員会の開催等を行うとともに、大学スポーツの活性化に全学的体制で取り組む各大学における専門人材の配置や先進的モデル事業を拡充する。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	(1)大学及び学生競技団体等が中心となる設立準備委員会を開催する等、新組織の創設に向けた具体的準備を行い、平成31年度からは新組織である一般社団法人大学スポーツ協会への補助を行う。(民間スポーツ振興費等補助金「一般社団法人大学スポーツ協会の「安全安心事業・医科学活動事業」「学業充実活動事業」に対する補助 補助率:定額補助) (2)大学スポーツに関する全学的な体制整備を推進するため、「大学スポーツ・アドミニストレーター」の配置やスポーツ活動を支援し、新組織の中核となる大学群の形成につなげる。									
実施方法	委託・請負、補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	161.8	138.2	217.8	-	-			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	▲ 5	-	-	-	-			
	計		156.8	138.2	217.8	0	0			
	執行額		112	109.6	116.9	-				
	執行率 (%)		71%	79%	54%	-				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		69%	79%	54%	-				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	民間スポーツ振興費等補助金		-	-	令和4年度要求においては「感動する大学スポーツ総合支援事業」として組換新規予算を計上。					
	スポーツ振興事業委託費		-	-						
	職員旅費		-	-						
	庁費		-	-						
	諸謝金		-	-						
	計		-	-						
活動内容 (アクティビティ)	大学及び学生競技団体等が中心となる設立準備委員会を開催する等、大学スポーツ統括団体新組織の創設に向けた具体的準備を行う。また、大学スポーツに関する全学的な体制整備を推進するため、「大学スポーツ・アドミニストレーター」の配置やスポーツ活動を支援し、新組織の中核となる大学群の形成につなげる。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	大学スポーツ統括団体の 設立	設立準備委員会(作業部会)の開催数 ※H30年度のみ開催 ※H29年度実績については、学産官連携協議会(分科会等を含む)の開催数	活動実績	回	-	-	-	-	-	
			当初見込み	回	-	-	-	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	【大学横断的かつ競技横断的統括組織(日本版NCAA)創設事業(大学スポーツ振興の推進)】 事業全体の執行額/採択数			単位当たり コスト	百万円/件	4.3	7.8	7	-	
				計算式	百万円/件	55.6/13	62.6/8	56.2/8	-	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度	
	平成33年度までに、大学スポーツアドミニストレータが配置された大学数が100校となることを目指す。	大学スポーツアドミニストレータが配置された大学数 ※前年度の実績は大学スポーツの振興に関するアンケートに基づき8月以降確定後、記載予定		成果実績	校	34	40	-	-
		目標値	校	-	-	100	-	100	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	大学スポーツの振興に関するアンケート(スポーツ庁調べ) (アンケートにおいて、大学スポーツアドミニストレータを配置している大学が10あり、その10倍を目標値として算出した数)								
活動内容 (アクティビティ)	大学スポーツに関する全学的な体制整備を推進するため、「大学スポーツ・アドミニストレータ」の配置やスポーツ活動を支援し、新組織の中核となる大学群の形成につなげる。また、平成31年度からは大学スポーツ統括団体である一般社団法人大学スポーツ協会への補助を行い、同協会の加盟大学数増加に向けた推進を実施する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	一般社団法人大学スポーツ協会の加盟団体数増加推進	大学横断的かつ競技横断的統括組織(日本版NCAA)創設事業(大学スポーツ振興の推進)における先進的モデル事業の企画件数		活動実績	件	13	8	8	-
		当初見込み	件	19	25	6	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	【大学横断的かつ競技横断的統括組織(日本版NCAA)創設事業(大学スポーツ振興の推進)事業全体の執行額/採択数		単位当たりコスト	百万円/件	4.3	7.8	7	-	
		計算式	百万円/件	55.6/13	62.6/8	56.2/8	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 7 年度	
	一般社団法人大学スポーツ協会に加盟する大学数の増加を目指す。	一般社団法人大学スポーツ協会の加盟大学数		成果実績	校	222	220	219	-
		目標値	校	-	-	-	-	400	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	大学スポーツ協会設立準備委員会事務局・スポーツ庁発行「一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)について」より 全日本大学野球連盟加盟大学数(381)及び全日本学生サッカー連盟加盟大学数(359)から目標値を設定。								
政策評価、新経済・財政再生計画との 関係	政策	11 スポーツの振興							
	施策	11-1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ 参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の 充実	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_11-1.pdf					
			該当箇所	達成目標Ⅱの測定指標 ④大学スポーツアドミニストレータを配置する大学数 ⑤大学スポーツ協会(UNIVAS)加盟大学数					
	取組事項	分野:	-				記載なし		
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		記載なし							
		該当箇所						記載なし	

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	スポーツ基本法、スポーツ基本計画に国による取組が明記され、また政府の成長戦略においても記載されるなど政策の優先度が極めて高い事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国の政策の企画・立案のための全国規模の調査を行うことは地方自治体、民間に委ねることは出来ず、国が主体的に行う必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	スポーツ基本法、スポーツ基本計画に国による取組が明記され、また政府の成長戦略においても記載されるなど政策の優先度が極めて高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出(委託)先の選定に当たっては、十分な公示期間を確保した上で公募(企画競争)を行い、その妥当性や競争性を確保する。 一社応募を回避するためには、公募額や契約期間・公示期間の見直し等の検討が必要。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	委託金額については、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査して決定する。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	委託契約の締結に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行う。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	経費の執行については、事業年度ごとに実績報告書等において、支出先・用途の把握、経費の使用状況等の確認に努めている。
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	委託契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業経費の黙秘・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行う。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	令和2年度においては、コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、事業量が予定を下回ったことが不用額が生じた主な要因である。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	委託費の額の確定において、費目・用途の内容を厳正に審査するなど適切にチェックを行う。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標を達成するためには、本事業により先進的モデル事業を形成した上で普及することが必要であると考えており、成果実績は成果目標に見合っている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	委託契約及び額の確定に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックを行い、低コストでの実施に努める。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	成果目標を達成するためには、本事業により先進的モデル事業を形成した上で普及することが必要であると考えており、活動実績は成果目標に見合っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業で得られた成果物は、各大学に配布する予定であり、各大学におけるスポーツ支援体制の整備等のため活用を促す予定である。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、スポーツ基本法やスポーツ基本計画に明記されるスポーツ振興や大学との連携及び協力の促進に資するものであり、未来投資戦略2017(平成29年6月9日閣議決定)においてもスポーツの成長産業化の一つとして掲げられていることから、政策の優先度が高い事業である。	
	改善の方向性	本事業の実施に当たっては、事業の影響が直接及び大学関係者等の意見等を踏まえながら、ニーズに合った施策を検討するとともに、検討結果が国内関係者に周知されるよう、次年度以降の施策も着実に実施していく必要がある。	

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業
善部内
改容

この事業は、複数年にわたり執行率が低調となっていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析したうえで、予算執行の適切な改善に努めるべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年
善度
を内
検に

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大による影響で事業の縮小等に伴い不用額が生じたが、令和4年度は事業の中止や縮小はなく、順調に執行中であり、引き続き適切な事業実施に努める。

備考

スポーツ基本法: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm
 スポーツ基本計画: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm
 日本再興戦略2016: http://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/pdf/2016_hombun1.pdf
 スポーツ庁HP「大学スポーツの振興」: https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop09/list/1402909.htm

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成28年度	新29-0036			
平成29年度	新29-0029			
平成30年度	312			
令和元年度	文部科学省 - 0304			
令和2年度	文部科学省 0306			
令和3年度	2021 文科 20 0329			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



